技 術 概 要 書 （様式）

※別紙2

技術分類	安全・防災　維持管理　環境　コスト　ICT　品質　（該当する分類に〇を付けてください）		
技術名称	Bライン側溝	担当部署	営業本部
NETIS登録番号		担当者	松本　光一郎
社名等	㈱ヤマウ	電話番号	092-872-3333

技術の概要

１．技術開発の背景及び契機

自転車の車道走行が原則となる中、従来の側溝ではコンクリート露出面が多く、自転車のスリップ事故が想定される。自転車走行時、側溝のコンクリート露出面を最小限にしタイヤが側溝に乗ることは、ほとんどなく安全性に走行できる側溝を開発する。民地側の土地利用変化に対して、大がかりな工事費用がかかっていたが、縁石分離構造製品の為、カッタ―にて縁石のみの取り外し、取り付けが可能になり大幅なコスト縮減が図れる。

２．技術の内容

道路側に露出する側溝コンクリート面を側溝端面から10cm確保しました。自転車のタイヤが側溝に乗る事を防ぎ安全走行できます。道路側の側溝縦断方向に連続スリットを設け、雨水の集水能力をアップしました。水溜りの発生を抑える事で自転車が安全に走行できる事が出来ます。縁石分離側溝の為、民地側の土地利用変化時に大掛かりな工事の必要が無く、カッタ―にて縁石のみの取り外し、取付けが可能です。標準縁石、乗入れ、切下げを現場にあわせて設置できます。側溝底面が半円形である為、清掃回数が軽減され流速も従来製品より高い。

３．技術の効果

製品が縁石と一体化している為、縁石の施工が省かれ施工性、経済性に優れている。自転車走行時の側溝の道路に露出されるコンクリート面を側溝端面から10cmとした為、タイヤが側溝にほとんど乗らず、自転車スリップ事故を軽減させた。縁石分離側溝の為、民地側の土地利用変化時に大掛かりな工事の必要が無く、カッタ―にて縁石のみの取り外し、取付けが可能である。従来製品より復旧工事を半分にした。工事途中の舗装中間層において側溝本体の集水フィルターを従来より開口面積を300%UPした為、舗装中間層をそのまま解放して集水可能とする。歩道部の水跳ねは起きにくい為、歩行者に優しい環境とする。

４．技術の適用範囲

・車両荷重T-25(縦・横断)及び歩道部

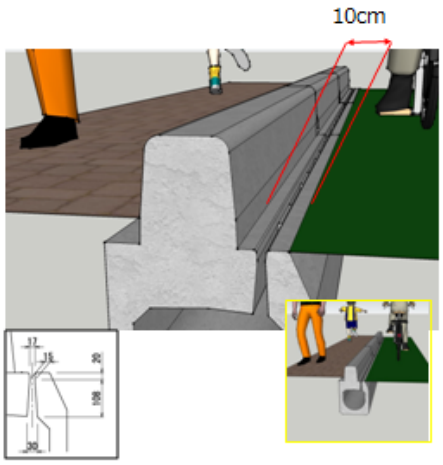
５．活用実績

国の機関　2件　（九州　2件　、九州以外　0件　）
自治体　5　件　（九州　5件　、九州以外　0件　）
民　間　0　件　（九州　0件　、九州以外　0件　）

6. 写真・図・表

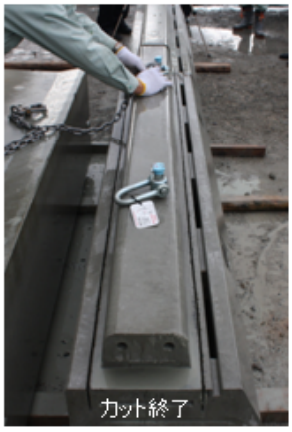
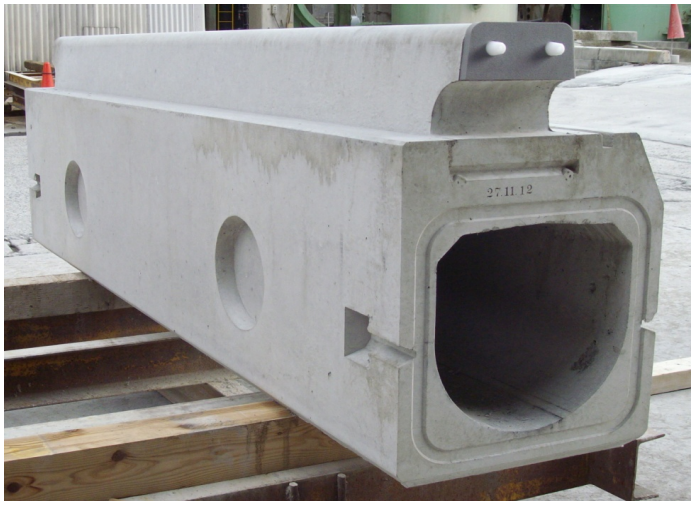
1.自転車の車道走行時における安全を確保（自転車走行配慮型側溝）

6



自転車の車道走行が原則となる中、その走行時の安全性を確保するために、側溝の道路に露出する　コンクリート面を縁石端面から10cmのみとした。

タイヤが側溝に乗ることはほとんどなく安全に走行できる。

2．民地側の自費工事申請に柔軟に対応（2）

8